## 【第4学年国語】

# メモを適切に選び、段落の役割を理解して文章を書く

# 1 指導計画

1時間目 自分がとった取材メモを整理・分類し、まとめる。

2時間目 話題に沿ったメモを選択し、組み立て表を基に紹介文の「なか」を書く。

3時間目 「せんべい工場のひみつ」について、テーマを選び、紹介文を書く。

## 2 指導のポイント

本単元は、書くために必要な事柄を集め、それを適切に用いて、伝えたいことが分かりやすい文章を書くことをねらっている。

### 1時間目

メモをとるときのポイントを押さえさせた後、中山さんがせんべい工場で働く西村さんに行ったインタビューを聞き、メモをとる。その後、自分の書いたメモを事柄ごとに整理・分類し、それぞれのメモにトピックセンテンスを書かせる。

### 2時間目

中山さんのメモを基に、伝えたいことに合うようなメモを選び組み立て表を完成させる。その後、組み立て表を基に、紹介文の「なか」を書き、「順字を表す言葉を使うこと」「段落のはじめにトピックセンテンスを書く」と相手に伝わりやすいことを押さえる。

## 3時間目

「おいしいせんべいを作るためのくふう」「できたてのせんべいをとどけるためのくふう」のいずれか 興味のあるテーマを選ばせる。両方の組み立て表に当てはまる記号を書かせることで、適切なメモを用 いることを確認する。前時の学習内容も生かして、条件に合わせて工場の紹介文を書かせる。

#### 3 各時間の指導

# (1) 書くために必要な事柄を集め、メモを整理・分類する力を付ける(1時間目)

# 主な学習活動と教師の働き掛け

### (課題提示)

中山さんの学級では、社会の時間で「物をつくる仕事」について学習しています。「商品を作るときに気をつけていること」を調べるために、工場ではたらく西村さんインタビューすることになりました。

# メモをとるときのポイントを確認する。

〈メモを書くときのポイント〉

- 体言止めや短い言葉で書く。
- 箇条書きで書く。
- 一つの事柄について一つずつ書く。

## T 中山さんになったつもりで、インタビューを聞き、メモをとりましょう。

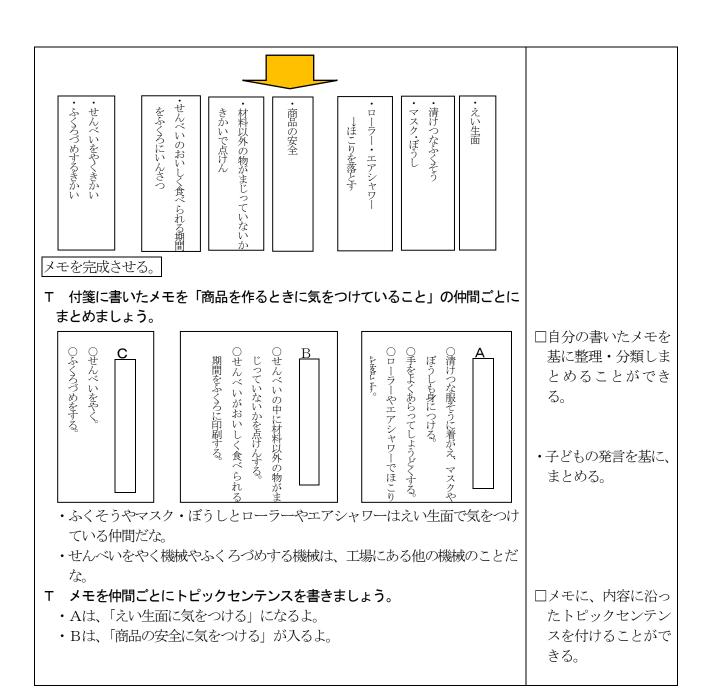
中山 わたしは今、「物をつくる仕事」について学習しています。 せんべい工 場では、商品を作るときに、どんなことに気をつけていますか。

## 西村さん

えい生面に気をつけています。せんべいを作る前には・・・。

## • 留意点 □評価

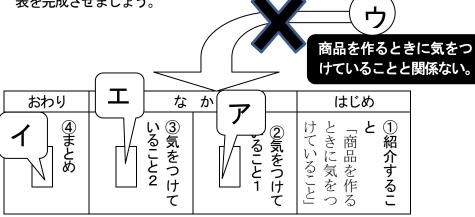
- 教師が「インタビュー」を読む。(できるなら、中村さんと西村さんの2役の声を変えたものを用意)
- ・子どもの発言を基に、 メモを書くときのポイントをまとめる。短い言葉で書くなど、簡単なポイントを知らせて書かせる
- メモは付箋に書かせる。



# (2) 話題や構成に沿って、必要な事柄を選択し、段落の役割を理解して文章を書く力を付ける。(2時間目)

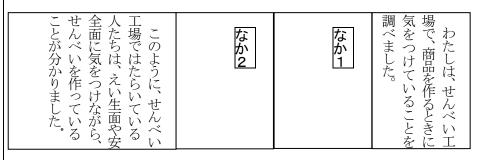
| 主な学習活動と教師の働き掛け  |  | • 留意点 | □評価 |
|---|--|-------|-----|
| (資料提示)  |  |       |     |
| T 中山さんはこのようにメモをまとめました。  |  |       |     |
|   |  |       |     |
| ウ 工場には機械がたくさん<br>ある<br>○せんべいをやく。<br>○かくろづめをする。<br>○せんべいの中に材料以外の物がま<br>じっていないかを点けんする。<br>○せんべいがおいしく食べられる<br>期間をふくろに印刷する。 | ア えい生面に気をつける ○清けつな服ぞうに着がえ、マスクやぼうしも身につける。 ○手をよくあらってしょうどくする。 ○ローラーやエアシャワーでほこりを落とす。 ・ できとす。 ・ できとす。 ・ できとす。・ できとす。・ できとす。・ できとが、 できとが できが しょうどく しょうどく しょうどく しょうどく しょうどく しょうじく しょうじょう しょう しょう と できとす。 できとす。 できとす。 ・ できとう ・ でき ・ ・ できとう ・ ・ できとう ・ ・ できとう ・ ・ できとう ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |       |     |

## 「組み立て表」にメモの記号を書き、完成させる。



- アとエが「なか」に入るよ。
- 「おわり」には、まとめが入るからイだね。

「組み立て表」を基に、紹介文の「なか」を完成させる。



T 「なか1」は、Aの文とBの文のどちらが相手に分かりやすいでしょうか。

B 清けつな服そうに 着がえ、マスクやぼう とに気をつけていま とに気をつけていま ▲ 一つ目は、えい生面 です。清けつな服そう に着がえ、マスクやぼ うしを身につけたり、 手をよくあらってし ようどくしたりしま

- ・Aの方が、順序を表す言葉があって相手に伝わりやすいよ。
- Bは、何について気をつけているかよく分からないよ。
- T 「なか1」のAを手本にして、「なか2」を書きましょう。
  - なか1が「一つ目は」だから、なか2は「二つ目は」と書けばいいな。
  - 「二つ目は」の後に、トピックセンテンスを書けばいいな。
- T 学習したことを確認しましょう。
- ○「はじめ」「なか」「おわり」と大きく三つに分ける。
- ○「はじめ」には自分が伝えたいこと「おわり」にはまとめの文を書く。
- ○「なか」は、「一つ目」「二つ目」と順序を表す言葉を使ったり、段落のはじめにトピックセンテンスを書いたりすると分かりやすい。

- ・子どもの発言を基に、 商品を作るときに気を つけていることに関係 のない文章が入ると分 かりにくくなることを 全体の場で確認する。
- メモと紹介文を対応 させながら、当ては まる記号を一つずつ 確認させる。
- □メモを基に、組み立て表に記号を書き入れることができる。
- 「はじめ」と「おわり」 は、予め書かれてあるものを提示する、 教師の見本を基に児 童に書かせるなど、 学級の実態に応じて 指導する。
- 「はじめ」には自分が 伝えたいこと「おわり」にはまとめの文 を書くことを押さえる。

□「順序を表す言葉を 使うこと」「段落のは じめにトピックセン テンスを書く」こと を押さえた文章を書 くことができる。

## (3) 段落の役割を理解し、時間内に指定された文字数で文章を記述する力を付ける。(3時間目)

主な学習活動と教師の働き掛け • 留意点 □評価

## (課題提示)

中山さんのクラスの一員になったつもりでせんべい工場の紹介文を書き ましょう

## メモを選んで、組み立て表を作る。

- T あなたはどちらの内容で、紹介文を書きますか。
  - ・おいしいせんべいを作るためのくふう (A) にしよう。
  - できたてのせんべいをとどけるためのくふう(B)にしよう。
- T AとB、それぞれの「組み立て表」を完成させましょう。
  - 組み立て表は「はじめ」「なか」「おわり」に分けるんだったな。
  - 「はじめ」と「おわり」の内容はどれがセットになるかな。
  - ・「なか」の小見出しに合うメモはどれだろう。
  - (例) 「おいしいせんべいを作るためのくふう」 の組み立て表

| おわり              | なか  | はじめ                     |  |
|------------------|---|-------------------------|--|
| ④まとめ<br><b>ウ</b> | く作せ③<br>くふうためいしい<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>マンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンションを<br>アンシを<br>アンションを<br>アンシを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アンを<br>アン | ①紹介する<br>こと<br>こと<br>こと |  |

## 紹介文を書く。

- T 条件に合うように紹介文を書きましょう。
  - ・前の時間の中山さんの紹介文を参考に、四段落で書こう。
  - ・メモに書かれている内容を落とさないように、気をつけて書こう。

内容 おいしくなるための材料を研究を 一つ目は、おいしい米をえらぶ 一つ目は、おいしい米をえらぶ にことです。全国のおいしい米や、 にことです。全国のおいしい米や、 にことです。全国のおいしい米や、 でいます。 こつ目は、おいしくするためのと こつ目は、おいしくするためのと さています。 と こつ目は、おいしくするためのと され、ことです。せんべいが を研究をすることです。せんべいが しい、研究を このように、せんべい工場では、さまざまな味のせんべいを、 いせんべいをつくるため、

- T 書いた紹介文が条件に合っているか確認しましょう。確認できたら、とな りの友達と交流しましょう。
  - ・「はじめ」には発表すること、「おわり」の段落にまとめとして分かったこ とをしっかり書けたよ。
  - ・四つの段落で、210字を超えて書くことができたよ。
  - 字数が少し足りなかったからもう少し書き加えよう。

・「メモ」を読ませ、自分 の興味のある方を選ば せる。

- ・前時の学習を振り返りな がら、組み立て表の確認 をする。
- ・選んだ方に関係なく、両 方の組み立て表に当て はまる記号を書かせる ことで、適切なメモを用 いることを確認する。
- 書くときの条件を示す。
- ○~~~線 (210 字) を こえるまで書きまし よう。
- ○必要なところで行を かえて、四つの段落で 書きましょう。
- ○20分で書きましょう。
- ・メモー枚が一段落である ことを押さえる。
- ・時間内に完成しない子ど もがいても、その後、完 成または修正を加えて よりよくなった場合は、 その努力を認め、意欲付 けを図る。
- □条件を満たして、メモを もとに、紹介文を書くこ とができたか。